



「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会(第5回)」開催報告

企画部

危険物施設における保安設備等への新技術の活用を目的に、「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会(第5回)」をWEB開催し、201名の方々にご参加いただきました。

1 概要

近年、様々な分野で監視カメラ技術、ドローン技術、IoT 技術等の新たな技術が活用されています。

今後、危険物施設においても、これらの新技術を活用した保安設備等の導入や普及が見込まれることから、人の目に替わる点検手段、データを用いた危険予兆など、大規模危険物施設等における維持管理や災害早期発見についての方策として、これらの新技術を活用した保安設備等について、発表者と参加者の対話形式による研究会を不定期に開催しています。

2 開催日

日時：令和4年6月17日(金) 14時00分から16時00分まで

3 参加者(201名)

消防関係機関(19名)

事業所関係(172名)

その他(10名)

4 内容

(1) 発表

日揮株式会社による「ファストデジタルツインで既設プラントのDXを加速するINTEGNANCE VR」

(2) 意見交換

ア 行政機関

- ・発災現場の情報把握への活用について
- ・3Dビューアを活用したロボットによる災害対応について

イ 事業所等

- ・現場の撮影方法について
- ・現場で使用するタブレット端末について
- ・システムのセキュリティについて
- ・データの更新・変更方法について

そのほか、多くのご意見・ご質問をいただきました。

5 実施状況



日揮株式会社による発表の様子

6 「INTEGNANCE VR」の詳細について

日揮株式会社の「INTEGNANCE VR」については、機関紙「Safety & Tomorrow」204号(9月号)に掲載予定です。

7 次回開催予定

今後も不定期になりますが、「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」をWEB開催していく予定です。詳細が決定次第、危険物保安技術協会のホームページに開催案内を掲載します。

【お問い合わせ先】

危険物保安技術協会 企画部企画課 陣鎌・森
 電話 03-3436-2353 / FAX 03-3436-2251
 E-mail kikaku@khk-syoubou.or.jp